

令和3年度 事業計画

社会福祉法人 上陽福寿会

1. 基本方針

昨年は中国の武漢で発生した新型コロナウイルスによる感染症が、全世界に広まり今日も世界的なパンデミックに至り、現在も続く大変な都市でありましたが、当グループでは職員の懸命努力で感染予防ができています。

グループとして昨年も第三みづま敬和苑の開苑、柳光園の新築移転と大事業を行いました。

また、カンボジアから受け入れている技能実習生ですが、新型コロナの影響で予定していた新たな受け入れが伸びてしまいましたが令和3年度には各施設に受け入れができると考えています。

今年は3年単位で実施される介護報酬改定が予定されています、概要は新型コロナウイルス感染症や大規模災害が発生する中で「感染症や災害への対応力強化」を図るとともに、団塊の世代が全て75歳以上となる2025年に向けて「介護人材の確保、介護現場の革新」等図るとあり、的確な対応を行います。

改めて法人経営・運営理念、原点に立ち返り、次の事を念頭に職務に精励していただきたい。

理事長年頭訓示

- ① 新型コロナウイルス等感染症予防に徹底すること。
- ② 利用者本位のサービス提供に努めること。
- ③ 敬和苑グループの職員として、秩序ある言動に努め、明るく働きやすい職場に努めること。

以上、理事長の訓示に対し、本年を「事業の発展とさらに安定した運営」を目指し次項を重点的に取り組む。

2. 重点事項

① 適切な入所者処遇の徹底

- ・ 報告・連絡・相談の徹底（施設・職員間の連携強化）
- ・ 利用者本位のサービス提供
- ・ 事故・感染症防止及び健康管理の徹底

② 役職員の資質の向上

- ・ テーマ設定による全職員の勉強会の実施（感染対策の徹底）
- ・ 個人別計画による派遣研修の実施（様々なツールの活用）
- ・ 接遇改善への取組み
- ・ 介護技能実習生受け入れへの対応、指導・教育

③ 安定的な施設運営

光陽の郷

- ・ 利用者の確保（特養50床・デイサービス・ショートステイ稼働率90%以上）
- ・ 経費を有効活用し、効率かつ合理的な運営を行う。
- ・ 明るい職場づくり第一に、職員の確保と継続雇用を図る。

第二光陽の郷

- ・ 職員の確保及び定着（負担軽減・業務や手順等の見直し・働きやすい職場環境の確立）
- ・ 利用者の確保（特養満床に近い利用・ショートステイ平均24名・デイサービス30名）
- ・ 適切な入所者処遇及び家族対応含めた接遇の向上